

⑫ 公開特許公報(A) 平4-143133

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>

B 60 Q 1/44  
1/00

識別記号

E

庁内整理番号

8715-3K  
8715-3K

⑭ 公開 平成4年(1992)5月18日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑮ 発明の名称 車体組込型補助ストップランプ

⑯ 特 願 平2-267042

⑰ 出 願 平2(1990)10月4日

⑱ 発 明 者 近 藤 俊 幸 千葉県船橋市本中山7-8-3

⑲ 発 明 者 内 藤 裕 治 神奈川県横浜市港北区中川2-9-3-202

⑳ 出 願 人 スタンレー電気株式会 東京都目黒区中目黒2丁目9番13号  
社

㉑ 代 理 人 弁理士 秋元 輝雄

明 細 書

1. 発明の名称

車体組込型補助ストップランプ

2. 特許請求の範囲

(1) 自動車のリアウインドガラスの上端部の車室内側に取付けられる補助ストップランプにおいて、前記自動車の天井部内張の後端寄りの部分には前記リアウインドガラスの設けられた範囲に至るものとされ、この天井部内張の前記リアウインドガラスに対峙する部分にはストップランプ取付凹部が設けられ、該ストップランプ取付凹部には着脱自在に補助ストップランプ灯体が取付けられていることを特徴とする車体組込型補助ストップランプ。

(2) 前記補助ストップランプ灯体には左右端に軸方向に摺動機構を有するピンが設けられ、前記ストップランプ取付凹部には前記ピンと対応する取付孔が設けられ、前記ピンと取付孔とを前記摺動機構を用いて嵌着させることで補助ス

トップランプ灯体とストップランプ取付凹部とが着脱自在とされていることを特徴とする特許請求の範囲第(1)項記載の車体組込型補助ストップランプ。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は本来のストップランプよりも高い位置に設けられ、通称ハイマウントストップランプと称されている補助ストップランプに関するものである。

【従来の技術】

従来のこの種の補助ストップランプ91の例を示すものが第6図であり、現状ではこの補助ストップランプ91の取付が自動車使用者の選択自由のものとされていることで、その取付の要求のある場合にはリアウインドガラス10の車室内側の上端寄りに例えば前記補助ストップランプ91の両端に設けた取付脚92の貼着などの手段により取付けられるものであった。

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、前記した従来の補助ストップランプ 9 1 においては、その貼着が前記リアウインドガラス 1 0 の有効視界内に行われるものとなるので視界が妨げられるものとなる安全上の問題点を生じ、同時に前記補助ストップランプ 9 1 は、いかにも追加されたものの感を抱かせるものとなり自動車デザインとの不統一を生じて観者に違和感を与えると云う問題点を生ずるものとなり、これらの点の解決が従来の補助ストップランプ 9 1 における課題とされるものとなっていた。

#### 【課題を解決するための手段】

本発明は前記した従来の課題を解決するための具体的な手段として、自動車のリアウインドガラスの上端部の車室内側に取付けられる補助ストップランプにおいて、前記自動車の天井部内張の後端寄りの部分は前記リアウインドガラスの設けられた範囲に至るものとされ、この天井部内張の前記リアウインドガラスに対峙する部分にはストップランプ取付凹部が設けられ、該ストップランプ取付凹部には着脱自在に補助ストップランプ灯体

法などを勘案して適宜量に定めるものとされている。

上記の説明のように突出させられた天井部内張 3 の後端部には前記リアウインドガラス 1 0 に略対峙してストップランプ取付凹部 4 が設けられ、このストップランプ取付凹部 4 には前記補助ストップランプ灯体 2 が着脱自在に取付けられるものとなっている。

第 3 図、第 4 図に示すものは前記ストップランプ取付凹部 4 と補助ストップランプ灯体 2 との着脱自在とする取付の例であり、前記ストップランプ取付凹部 4 の左右端には底面 4 b を例えば水平方向に沿う V 字溝状とし外形が円孔状の取付孔 4 a が夫々に設けられ、一方の補助ストップランプ灯体 2 の左右端には前記 V 字状溝と嵌合する山形の頂面 2 b を有する円筒状のピン 2 a が夫々に設けられるものとなり、前記取付孔 4 a とピン 2 a とは夫々が対応する位置に設けられ、両者を嵌合させたときには前記頂面 2 b と底面 4 b とが噛合って前記補助ストップランプ灯体 2 をストップ

が取付けられていることを特徴とする車体組込型補助ストップランプを提供することで、前記した従来の課題を解決するものである。

#### 【実施例】

つぎに、本発明を図に示す一実施例に基づいて詳細に説明する。

第 1 図、第 2 図に符号 1 で示すものは本発明に係る補助ストップランプであり、この補助ストップランプ 1 は自動車のリアウインドガラス 1 0 の上端部寄りであり且つ車室内側に取付けられるものである点は従来例のものと同様であるが、補助ストップランプ灯体 2 が直接に前記リアウインドガラス 1 0 に取付けられることはなく、本発明により自動車の天井部内張 3 を利用して取付けられるものとされ、よって、前記天井部内張 3 の後端部は下方に向かい突出させるなどして前記リアウインドガラス 1 0 の設けられた範囲までに至るものとされている。

尚、その突出させる上下および左右方向への寸法は前記補助ストップランプ灯体 2 の発光部の寸

ランプ取付凹部 4 に所定位置で且つ所定方向に向けて固定されるものとなっている。

加えて、前記ピン 2 a にはその軸方向に沿う摺動機構とバネ 5 などによる偏寄機構とが設けられ、通常には前記偏寄機構により突出側に偏寄する構成とされているので、前記補助ストップランプ灯体 2 をストップランプ取付凹部 4 に取付けるときには、前記ピン 2 a を押圧して補助ストップランプ灯体 2 内に押し込み、この状態でストップランプ取付凹部 4 内の所定位置に設定すれば前記偏寄機構により前記頂面 2 b と底面 4 b とが噛合った状態で圧接され固定が行われるものとなる。

また、両者、即ち補助ストップランプ灯体 2 とストップランプ取付凹部 4 とを離脱させるときには、補助ストップランプ灯体 2 に前記ピン 2 a を回転軸とする応力を加えることで、第 5 図に示すように前記底面 4 b の斜面によりピン 2 a が偏寄機構の偏寄力に抗して摺動し補助ストップランプ灯体 2 内に押し込まれるものとなるので、略 9 0

度回転させた状態で例えば下方に引き抜くことで両者は離脱するものとなり、また、この回転させ着脱する構成としたことで前記ウインドガラス10とストップランプ取付凹部4との間隙も狭い状態で補助ストップランプ灯体2の着脱が行えるものとなる。

尚、このときに前記ピン2aおよび取付孔4aを介して補助ストップランプ灯体2に給電するように前記天井部内張3内に配線を行って置けば、前記着脱時に同時に電気的接続も行えるものとなり、より好ましいものとなる。また、例えば使用者が補助ストップランプ灯体2の取付けを望まないときには前記ストップランプ取付凹部4は適宜の盲蓋などで施蓋することで、このストップランプ取付凹部4を覗き込む後続車からの視線を遮るものとなる。

次いで上記の構成とした本発明の作用効果について説明する。

先ず、第一には、前記天井部内張3中に取付けられるものとし、その天井部内張3に予めス

トップランプ取付凹部4を設けておくことで補助ストップランプ灯体2の取付けの有無によりリアウインドガラス10の有効視界に変化を生ずることが無く、これにより運転者に前記補助ストップランプの取付けにより視界が妨げられる感を生ずるのを防止する。

また、第二には、前記天井部内張3に補助ストップランプ灯体2を組み込む構成としたことでデザインのにも違和感の無いものとなり、且つ補助ストップランプ灯体2を取付けしないときにも前記した盲蓋などの使用でデザインを損なうものにならない。

#### 【発明の効果】

以上に説明したように本発明により、天井部内張の後端部にリアウインドガラスと対峙するストップランプ取付凹部を設け、このストップランプ取付凹部に補助ストップランプ灯体を取付ける構成としたことで、補助ストップランプの取付の有無に係わらず運転者に変わらない視界の提供を可能とし、有効視界を損なわないものとして交通

安全の向上に卓越した効果を奏するものであり、同時に補助ストップランプの取付の有無に係わらず自動車デザインにも変化を及ぼさないものとして観者に違和感を生じさせないものとして美観の向上に優れた効果を奏する。

また、取付方法を摺動機構を有するピンと取付孔とによるものとしたことで、工具を不要とするワンタッチ取付あるいは取外を比較的狭い場所で可能なものとし、機能を損なうことなく取扱を簡素化する効果を奏する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る補助ストップランプの一実施例を示す斜視図、第2図は第1図のII-II線に沿う断面図、第3図は同じ実施例の要部を示す斜視図、第4図は第3図のIV-IV線に沿う断面図、第5図は同じ実施例の作用を示す断面図、第6図は従来例を示す断面図である。

1 ……補助ストップランプ

2 ……補助ストップランプ灯体

2a ……ピン

2b ……頂面

3 ……天井部内張

4 ……ストップランプ取付凹部

4a ……取付孔

4b ……底面

5 ……パネ

10 ……リアウインドガラス

特許出願人

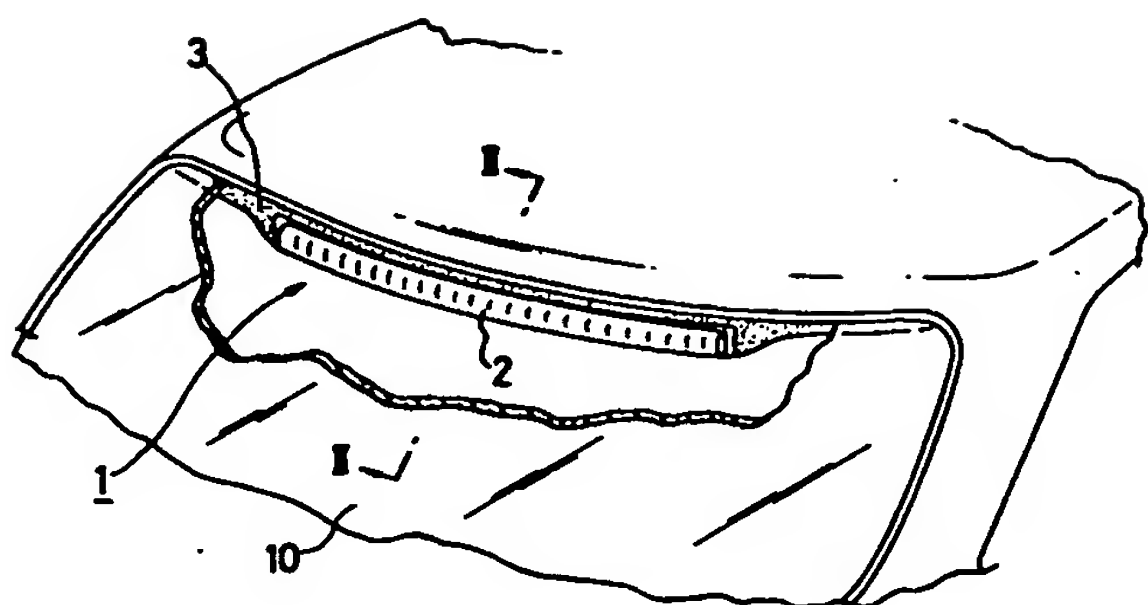
スタンレー電気株式会社

代理人

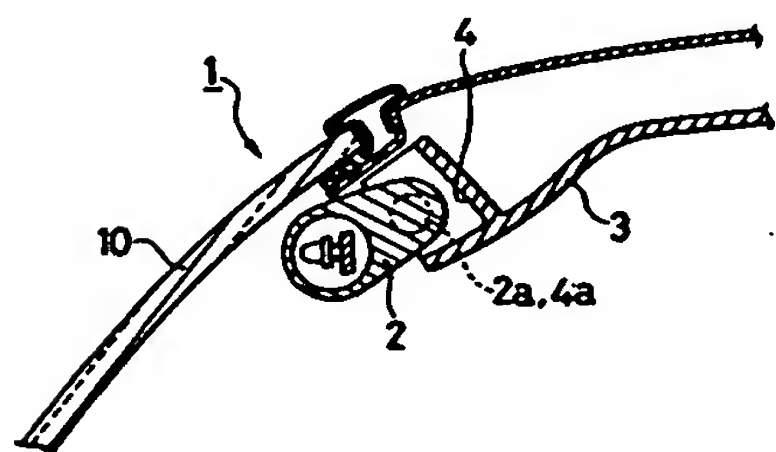
秋元

輝雄

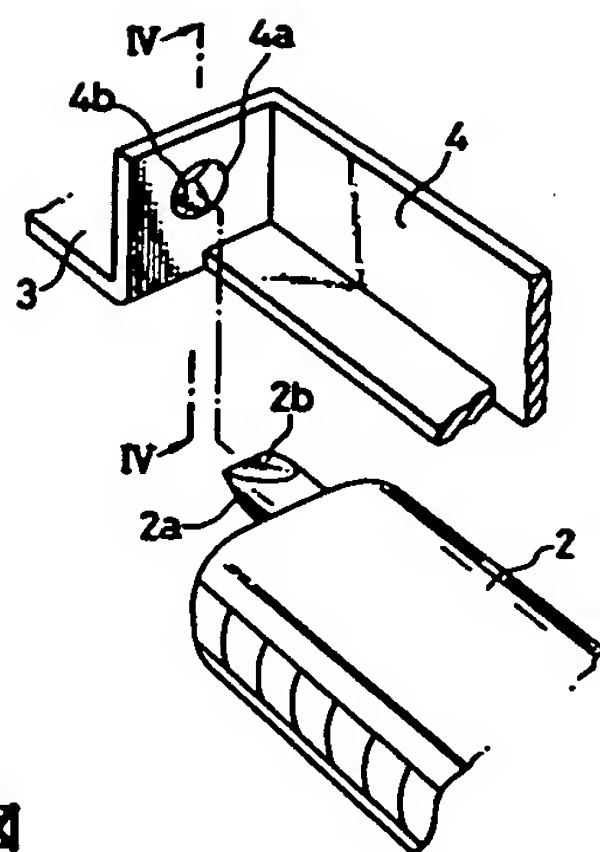
第 1 図



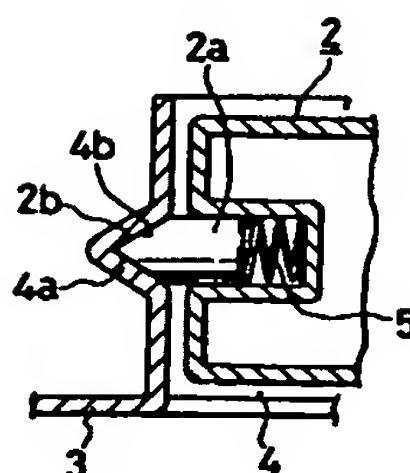
第 2 図



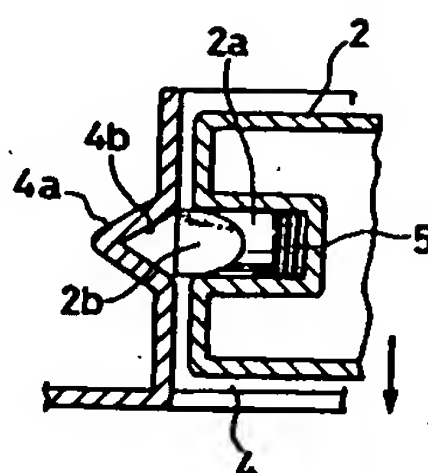
第 3 図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

